

# 植物工場とは

施設内で、植物の生育に必要な環境を、LED照明や空調、養液供給等により人工的に制御し、季節を問わず連続的に生産できるシステムです。以下のような魅力があります。

- 1年中**安定的**に生産できます。
- 工業団地・商店街の空き店舗等**農地以外でも設置**できます。
- 多段化で**土地を効率的に利用**できます。
- 自動化や多毛作で**高い生産性**を実現します。
- **形や大きさ、品質が揃うので**、加工が容易です。
- **栄養素**の含有量を高めることが可能です。
- 無農薬で**安全・安心**。無洗浄で食べられます。

普及に向けた課題もあり、今後の取組が必要です。

- コストダウン（施設整備、エネルギー）
- 栽培技術の確立（先進地域オランダの半分以下に留まる生産性の向上）と人材育成
- 専用品種の開発や対象作物の拡大

イメージ図



## 経済産業省に設置される植物工場



諸元：横3.6m×奥行き3.6m×高さ3m

設備投資費用：600万円

運営コスト（水道光熱費）：10万円／月  
（水道光熱の利用量に応じ変動します。）

栽培作物

イチゴ：蛍光灯で栽培。

1年あたり100パックの生産量。

苗から出荷まで4ヶ月。

レタス：LEDで栽培。

1ヶ月あたり40株の生産量

年間8毛作